

# 平成 30 年度の海部会の活動計画

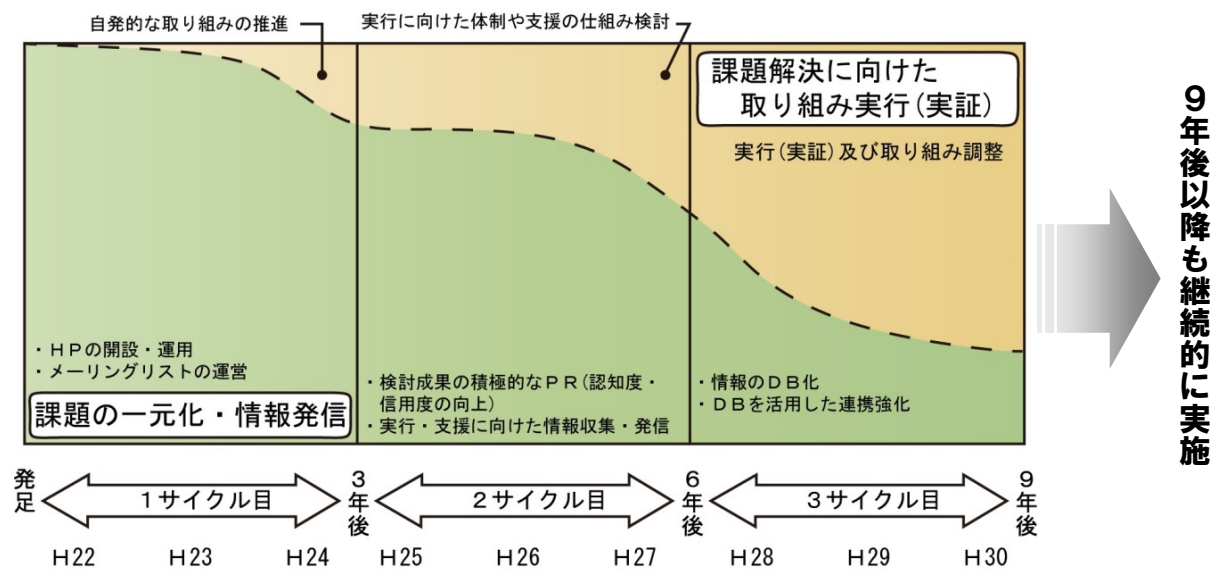
## 1. 懇談会の目的と運営方針について

### 1.1 懇談会の目的

- 矢作川流域圏に関係する各組織のネットワーク化を図る
- 流域圏一体化の取り組み及び矢作川の河川整備に関わる情報共有・意見交換を図る

### 1.2 懇談会の運営方針

- 懇談会は、3年に1サイクルで総括を行いながら運営
- 来年度からは、3サイクル目の「課題解決に向けた取り組み実行（実証）」へシフト



## 2. 海部会の今後の3ヶ年の目標

活動にあたっては、「矢作川水系河川整備計画」に基づき、調和のとれた矢作川流域圏の実現に向け、学識者、関係団体、関係行政機関がそれぞれの役割について認識を持ち、互いに連携して諸課題の解決に取り組むこととする。

今年の活動における課題や意見から、今後3ヶ年の目標（案）を以下とする。

### (3ヶ年の目標)

- 山部会、川部会との合同WGの場を年1回以上は設置するとともに、会員同士の交流を深め、部会間の各会員が協働して具体的な活動を実践する。
- 三河湾における水産資源の減少を流域圏全体の問題として情報発信し、その課題解決に向けた取り組みを検討・実践する。

### 3. テーマ別の運営方針と活動目標

#### 3.1 豊かな海の再生

(活動方針)

○三河湾のアサリの資源回復に関する現状の課題について認識を共有し、解決に向けた取り組みを検討する。

### 4. 次年度の矢作川流域圏懇談会の体制について

流域圏懇談会の現状をふまえた体制や参加のスタイルについて、第 8 回市民会議では以下のような意見があった。

- ・年に数回の市民を中心とした合同部会を行ってはどうか
- ・ここから先は、各部会もちろん大切だが、部会同士の横のつながりが大切になる
- ・イベントには部会に関係なく参加できれば良い

これらをふまえ、次年度以降の体制を事務局案として整理した。

- ・市民の目線に立ち流域連携テーマ（ごみ・流木、土砂、木づかい）やイベントなど、山・川・海の枠を越えた事案を話し合う「市民部会」（市民会議から改称）とする。
- ・市民部会では、個人・市民団体・関係団体が中心となって話し合いを行い、学識者および行政はオブザーバとして参加し助言等を行うものとする。
- ・地域部会の山・川・海の横断的な活動を目的とする合同部会（勉強会を含む）を必要に応じて実施する。

なお、これまでの個別 WG は、地域部会ごとに回数を設定し（年間 3～8 回：必要に応じて）実施し、個々の課題（山・川・海の個々のテーマ）について検討する。

次年度の懇談会の開催スケジュール案を以下に示す。

表：次年度の懇談会スケジュール（素案）

| 月            | 4             | 5 | 6 | 7 | 8 | 9             | 10             | 11 | 12 | 1 | 2 |
|--------------|---------------|---|---|---|---|---------------|----------------|----|----|---|---|
| 地域部会         |               | ● | ● | ● | ● | ●             | ●              | ●  | ●  | ◆ |   |
| 合同部会         |               |   |   |   |   | ◎             |                | ◎  |    |   |   |
| 市民部会         |               |   | ○ |   | ○ |               |                |    | ○  |   |   |
| 全体会議         |               |   |   |   |   |               |                |    |    |   | ★ |
| 流域連携に関するイベント | ◎<br>(事例集交流会) |   |   |   |   | ◎<br>(矢作川感謝祭) | ◎<br>(三河湾大感謝祭) |    |    |   |   |

◆：地域部会のまとめ